

2026年2月期 第1四半期決算説明会 質疑応答集

この質疑応答集は、決算説明会にご出席の皆様から頂いた主なご質問をまとめたものです。

なお、理解促進のために一部内容の加筆・修正を行っています。

●人材サービス事業（メディアサービス）について

Q1. 新規求人倍率（一般パートタイム）前年比は継続的に回復していく見通しですか。

A1. 新規求人倍率（一般パートタイム）前年比の変動は、マクロ経済環境の変化に加え、業種特有の要因等、複合要因で起きるため、予測を明確にお伝えすることは難しいと考えております。

Q2. メディアサービスの契約社数が前年比で減少している要因を教えてください。

A2. 営業人員数の減少が主たる要因です。現在、営業人員の採用と退職率の低減が重要な経営課題だと捉えており、今期下期には営業人員数を前年対比でプラスにしていく計画ですので、契約社数も前年比で増加基調に回せる見通しです。

Q3. メディアサービスの契約社単価は継続して上昇していく見通しですか。

A3. 継続して上昇していくと考えています。今後は、アルバイト・パート求人市場の穏やかな回復が進むと同時に、6月より開始したソリューション体制への移行や大手の顧客企業、人材企業におけるシェア拡大、スポットバイトルの併売等により、単価上昇が継続することを期待しております。

●スポットバイトルについて

Q4. スポットバイトル収益の今期見通しと今後の戦略を教えてください。

A4. 今期は先行投資期間となり、スポットバイトルの収益は赤字です。また、「バイトル」と「スポットバイトル」のセット販売による採用効果が高まっているため、今後は、バイトルとの相乗効果によって売上を上げていくことができると考えています。

●従業員（ソリューション体制・人員数）について

Q5. ソリューション体制への移行に伴い、一時的に離職が増えることはありますか。

A5.

大きな組織変更のため、そのタイミングで離職するというケースはありましたが、一時的なものと考えております。今回の体制変更により多くの営業社員の成長実感は高まっており、今後の退職率低減につながると考えております。

Q6. 従業員数の増減について今後の見通しを教えてください。

A6. 今期下期中には減少基調から増加基調に変わる計画です。

以 上